

あなたが大切にしていることは？

- 愛する人のそばで過ごしたい
- 病気になったら
痛いの嫌 苦しいのは嫌
- なるべく長生きしたい
- 美味しいものを食べ続けたい
など

あなたが信頼できる人は？

- 親、きょうだい、配偶者（妻、夫）
子ども、孫、親戚
- 友人
- かかりつけ医、医療やケアスタッフ
の方々の思い



人生会議（ACP）の進め方

もしもの時に・・・

あなたが大切にしたいことは何ですか？

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましょう。

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため何度も繰り返し考え話し合しましょう

あなたが信頼できる人は誰ですか？

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合しましょう。

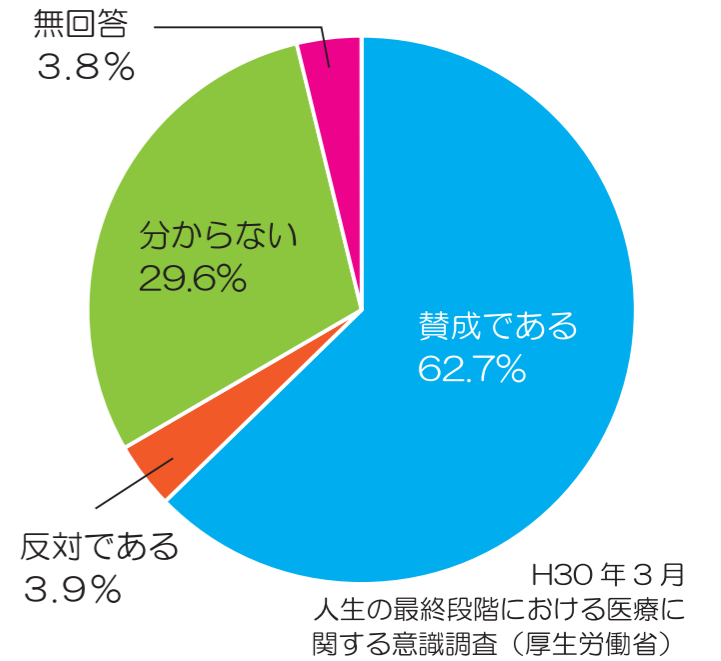


あなたの将来の希望や思いについて話し合いをしておく、もしもの時に、あなたが自分の意思を伝えられなくなっても、あなたの信頼する人が、あなたの代わりに治療やケアについて難しい決断をする場合の**重要な手助け**になります。

まずは、**家族や信頼できる周りの人と、自分の人生と価値観について話してみ**てはいかがでしょうか。



人生の最終段階における治療方針を定める人をあらかじめ決めておくことについて



あなたの希望する将来を叶えるためには、安心して医療と介護を受けられる体制づくり(地域包括ケアシステム)が必要です。

「地域包括ケアシステム」とは、病気や要介護状態になっても、住み慣れた自宅や地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される仕組みのことです。

住み慣れた地域での生活を続けるためには「本人の選択」が最も重視されるべきで、本人と家族等で心構えを話し合っていくことが重要です。

「すまいとすまい方」と「介護予防・生活支援」を土台に「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」の3枚の葉が専門職によるサービス提供として表現されています。これらの要素が相互に関係しながら包括的に提供されるイメージ図です。



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より